

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】令和 2 年 1 月 30 日 (2020.1.30)

【公表番号】特表 2019-513972 (P2019-513972A)
 【公表日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-020
 【出願番号】特願 2018-540729 (P2018-540729)
 【国際特許分類】

G 0 1 S 5/02 (2010.01)

H 0 4 W 12/12 (2009.01)

【F I】

G 0 1 S 5/02 Z

H 0 4 W 12/12

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 11 日 (2019.12.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のワイヤレストランシーバデバイスにおいて、

第 2 のワイヤレストランシーバデバイスに宛てられた第 1 のファインタイミング測定 (F T M) メッセージを送信することと、

受信されたメッセージを、前記第 2 のワイヤレストランシーバデバイスによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第 1 の F T M メッセージの受信を確認応答することと、

を備え、

前記第 1 の F T M メッセージは、第 1 のトークンを備える F T M 要求メッセージの前記第 2 のワイヤレストランシーバデバイスからの受信に応答して送信され、前記第 1 の F T M メッセージは、第 2 のトークンを備え、前記受信されたメッセージは、第 3 のトークンを備え、前記受信されたメッセージを、前記第 2 のワイヤレストランシーバデバイスによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第 1 の F T M メッセージの受信を確認応答することは、前記第 3 のトークンを、前記第 1 のトークンと前記第 2 のトークンとの関数として計算された値と比較することをさらに備える、方法。

【請求項 2】

前記受信されたメッセージを、前記第 2 のワイヤレストランシーバデバイスによって送信されたものとして認証し、前記第 1 の F T M メッセージの受信を確認応答することに応答して、前記受信されたメッセージの到着時間を示す 1 つまたは複数のパラメータを備える、前記第 2 のワイヤレストランシーバデバイスに宛てられた第 2 の F T M メッセージを送信すること

をさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記受信されたメッセージを、前記第 2 のワイヤレストランシーバデバイスによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第 1 の F T M メッセージの受信を確認応答することは、ソースデバイスを示す前記受信されたメッセージ中の 1 つまたは複数のパラメータに少なくとも部分的に基づいて前記受信されたメッセージを認証することを備える、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 1 つまたは複数のパラメータは、前記第 2 のワイヤレスランシーバデバイスの B S S I D を示す、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記受信されたメッセージは、前記第 1 の F T M メッセージが前記第 2 のワイヤレスランシーバデバイスにおいて受信された時間と、前記受信されたメッセージが前記第 2 のワイヤレスランシーバデバイスから送信された時間とを示す 1 つまたは複数のパラメータを備え、前記受信されたメッセージを、前記第 2 のワイヤレスランシーバデバイスによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第 1 の F T M メッセージの受信を確認応答することは、前記受信されたメッセージの到着時間を、前記第 1 の F T M メッセージが前記第 2 のワイヤレスランシーバデバイスにおいて受信された前記時間と、前記受信されたメッセージが前記第 2 のワイヤレスランシーバデバイスから送信された前記時間とを示す前記 1 つまたは複数のパラメータに少なくとも部分的に基づく値と比較することをさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 2 のワイヤレスランシーバデバイスに宛てられた第 2 の F T M メッセージを送信することと、前記第 2 の F T M メッセージは、第 4 のトークンを備える、

第 5 のトークンの、前記第 1 のトークンと前記第 4 のトークンとの関数として計算された値に対する比較に少なくとも部分的に基づいて、第 2 の受信されたメッセージの受信を、前記第 2 のワイヤレスランシーバデバイスによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第 2 の F T M メッセージの受信を確認応答することと、前記第 2 の受信されたメッセージは、前記第 5 のトークンを備える、

をさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記第 1 の F T M メッセージは、前記第 2 のワイヤレスランシーバデバイスから送信された F T M 要求メッセージの受信に応答して送信され、前記 F T M 要求メッセージは、F T M メッセージの受信を確認応答するメッセージの認証を指定する値を「トリガ」フィールド中に備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

第 1 のワイヤレス局 (S T A) であって、

通信ネットワークにメッセージを送信し、通信ネットワークからメッセージを受信するためのワイヤレスランシーバと、

前記ワイヤレスランシーバに結合されたプロセッサと、前記プロセッサは、

前記ワイヤレスランシーバを通じた第 1 のファインタイミング測定 (F T M) メッセージの送信を開始することと、前記第 1 の F T M メッセージは、第 2 の S T A に宛てられる、

前記ワイヤレスランシーバにおいて受信されたメッセージを、前記第 2 の S T A によって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第 1 の F T M メッセージの受信を確認応答することと

を行うように構成され、

前記第 1 の F T M メッセージは、第 1 のトークンを備える F T M 要求メッセージの前記第 2 の S T A からの受信に応答して送信され、前記第 1 の F T M メッセージは、第 2 のトークンを備え、前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージは、第 3 のトークンを備え、前記プロセッサは、前記第 3 のトークンを、前記第 1 のトークンと前記第 2 のトークンとの関数として計算された値と比較することによって、前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージを、前記第 2 の S T A によって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第 1 の F T M メッセージの受信を確認応答するようにさらに構成される、

を備える、第 1 の S T A。

【請求項 9】

前記プロセッサは、

前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージを、前記第 2 の S T A によって送信されたものとして認証し、前記第 1 の F T M メッセージの受信を確認応答することに応答して、前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージの到着時間を示す 1 つまたは複数のパラメータを備える、前記第 2 の S T A に宛てられた第 2 の F T M メッセージの前記ワイヤレスランシーバを通じた送信を開始すること

を行うようにさらに構成される、請求項 8 に記載の第 1 の S T A。

【請求項 10】

前記プロセッサは、ソースデバイスを示す、前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージ中の 1 つまたは複数のパラメータに少なくとも部分的に基づいて、前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージを認証することによって、前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージを、前記第 2 の S T A によって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第 1 の F T M メッセージの受信を確認応答するようにさらに構成される、請求項 8 に記載の第 1 の S T A。

【請求項 11】

前記 1 つまたは複数のパラメータは、前記第 2 の S T A の B S S I D を示す、請求項 10 に記載の第 1 の S T A。

【請求項 12】

前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージは、前記第 1 の F T M メッセージが前記第 2 の S T A において受信された時間と、前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージが前記第 2 の S T A から送信された時間とを示す 1 つまたは複数のパラメータを備え、前記プロセッサは、前記ワイヤレスランシーバにおける前記メッセージの到着時間を、前記第 1 の F T M メッセージが前記第 2 の S T A において受信された前記時間と、前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージが前記第 2 の S T A から送信された前記時間とを示す前記 1 つまたは複数のパラメータに少なくとも部分的に基づく値と比較することによって、前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージを、前記第 2 の S T A によって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第 1 の F T M メッセージの受信を確認応答するようにさらに構成される、請求項 8 に記載の第 1 の S T A。

【請求項 13】

前記プロセッサは、

前記第 2 の S T A に宛てられた第 2 の F T M メッセージの送信を開始することと、前記第 2 の F T M メッセージは、第 4 のトークンを備える、

第 5 のトークンの、前記第 1 のトークンと前記第 4 のトークンとの関数として計算された値に対する比較に少なくとも部分的に基づいて、第 2 の受信されたメッセージの受信を、前記第 2 の S T A によって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第 2 の F T M メッセージの受信を確認応答することと、前記第 2 の受信されたメッセージは、前記第 5 のトークンを備える、

を行うようにさらに構成される、請求項 8 に記載の第 1 の S T A。

【請求項 14】

前記第 1 の F T M メッセージは、前記第 2 の S T A から送信された F T M 要求メッセージの受信に応答して送信され、前記 F T M 要求メッセージは、F T M メッセージの受信を確認応答するメッセージの認証を指定する値を「トリガ」フィールド中に備える、請求項 8 に記載の第 1 の S T A。

【請求項 15】

請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載の方法のステップを実行する ように第 1 のワイヤレスランシーバデバイスのプロセッサによって実行可能である記憶されたコンピュータ可読命令を備える、非一時的記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0075

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0075】

[00079]説明を容易にするために、(ネットワークングデバイスとも呼ばれる)ネットワークデバイスは、コンピューティングデバイスの観点から具現化および／または説明されうることが理解されるべきである。しかしながら、この説明は決して、特許請求される主題がコンピューティングデバイスおよび／またはネットワークデバイスのような一実施形態に限定されると解釈されるべきではなく、代わりに、例えば、1つまたは複数の例示的な例を含む多様なデバイスまたはそれらの組み合わせとして具現化されうることがさらに理解されるべきである。1つのインプリメンテーション、あるインプリメンテーション、一実施形態、ある実施形態、および／または同様のものに対するこの明細書全体を通じた言及は、特定のインプリメンテーションおよび／または実施形態に関連して説明された特定の特徵、構造、および／または特性が特許請求される主題の少なくとも1つのインプリメンテーションおよび／または実施形態中に含まれることを意味する。このことから、例えば、この明細書全体を通じた様々な場所におけるそのようなフレーズの出現は、同じインプリメンテーションまたは説明された任意の1つの特定のインプリメンテーションを指すことを必ずしも意図されていない。さらに、説明された特定の特徵、構造、および／または特性は、1つまたは複数のインプリメンテーションにおいて様々な方法で組み合わせられることが可能であり、したがって、例えば、意図される特許請求の範囲内にあることが理解されるべきである。一般には、当然ながら、これらおよび他の問題は、コンテキストによって異なる。したがって、使用および／または説明の特定のコンテキストは、引き出される推論に関する役に立つ指針を提供する。実例的な特徵であると現在考えられているものが例示および説明されてきたが、特許請求される主題から逸脱することなしに、様々な他の修正がなされ、同等物が代用されうることが当業者によって理解されるであろう。加えて、ここに説明された中心的な概念から逸脱することなしに、特許請求される主題の教示に特定の状況を適合させるために、多くの修正がなされうる。したがって、特許請求される主題は、開示された特定の例に限定されないが、そのような特許請求される主題はまた、添付された特許請求の範囲内に含まれる全ての態様およびそれらの同等物を含むうことが意図される。

以下に本願の出願当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

[C 1]

第1のワイヤレストランシーバデバイスにおいて、

第2のワイヤレストランシーバデバイスに宛てられた第1のファインタイミング測定 (F T M) メッセージを送信することと、

受信されたメッセージを、前記第2のワイヤレストランシーバデバイスによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第1の F T M メッセージの受信を確認応答することと

を備える、方法。

[C 2]

前記受信されたメッセージを、前記第2のワイヤレストランシーバデバイスによって送信されたものであり、前記第1の F T M メッセージの受信を確認応答するものとして認証することに応答して、前記受信されたメッセージの到着時間を示す1つまたは複数のパラメータを備える、前記第2のワイヤレストランシーバデバイスに宛てられた第2の F T M メッセージを送信すること

をさらに備える、C 1に記載の方法。

[C 3]

前記受信されたメッセージを、前記第2のワイヤレストランシーバデバイスによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第1の F T M メッセージの受信を確認応答す

ることは、ソースデバイスを示す前記受信されたメッセージ中の1つまたは複数のパラメータに少なくとも部分的に基づいて前記受信されたメッセージを認証することを備える、C 1に記載の方法。

[C 4]

前記1つまたは複数のパラメータは、前記第2のワイヤレスランシーバデバイスのBSSIDを示す、C 3に記載の方法。

[C 5]

前記受信されたメッセージは、前記第1のFTMメッセージが前記第2のワイヤレスランシーバデバイスにおいて受信された時間と、前記受信されたメッセージが前記第2のワイヤレスランシーバデバイスから送信された時間とを示す1つまたは複数のパラメータを備え、前記受信されたメッセージを、前記第2のワイヤレスランシーバデバイスによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第1のFTMメッセージの受信を確認応答することは、前記受信されたメッセージの到着時間を、前記第1のFTMメッセージが前記第2のワイヤレスランシーバデバイスにおいて受信された前記時間と、前記受信されたメッセージが前記第2のワイヤレスランシーバデバイスから送信された前記時間とを示す前記1つまたは複数のパラメータに少なくとも部分的に基づく値と比較することをさらに備える、C 1に記載の方法。

[C 6]

前記第1のFTMメッセージは、第1のトークンを備えるFTM要求メッセージの前記第2のワイヤレスランシーバデバイスからの受信に応答して送信され、前記第1のFTMメッセージは、第2のトークンを備え、前記受信されたメッセージは、第3のトークンを備え、前記受信されたメッセージを、前記第2のワイヤレスランシーバデバイスによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第1のFTMメッセージの受信を確認応答することは、前記第3のトークンを、前記第1のトークンと前記第2のトークンとの関数として計算された値に対して比較することをさらに備える、C 1に記載の方法。

[C 7]

前記第2のワイヤレスランシーバデバイスに宛てられた第2のFTMメッセージを送信することと、前記第2のFTMメッセージは、第4のトークンを備える、

第5のトークンの、前記第1のトークンと前記第4のトークンとの関数として計算された値に対する比較に少なくとも部分的に基づいて、第2の受信されたメッセージの受信を、前記第2のワイヤレスランシーバデバイスによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第2のFTMメッセージの受信を確認応答することと、前記第2の受信されたメッセージは、前記第5のトークンを備える、

をさらに備える、C 6に記載の方法。

[C 8]

前記第1のFTMメッセージは、前記第2のワイヤレスランシーバデバイスから送信されたFTM要求メッセージの受信に応答して送信され、前記FTM要求メッセージは、FTMメッセージの受信を確認応答するメッセージの認証を指定する値を「トリガ」フィールド中に備える、C 1に記載の方法。

[C 9]

第1のワイヤレス局(STA)であって、

通信ネットワークにメッセージを送信し、通信ネットワークからメッセージを受信するためのワイヤレスランシーバと、

前記ワイヤレスランシーバに結合されたプロセッサと、前記プロセッサは、

前記ワイヤレスランシーバを通じた第1のファインタイミング測定(FTM)メッセージの送信を開始することと、前記第1のFTMメッセージは、第2のSTAに宛てられる、

前記ワイヤレスランシーバにおいて受信されたメッセージを、前記第2のSTAによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第1のFTMメッセージの受信を確認応答することと

を行うように構成される、
を備える、第1のS T A。

[C 1 0]

前記プロセッサは、

前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージを、前記第2のS T Aによって送信されたものであり、前記第1のF T Mメッセージの受信を確認応答するものとして認証することに応答して、前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージの到着時間を示す1つまたは複数のパラメータを備える、前記第2のS T Aに宛てられた第2のF T Mメッセージの前記ワイヤレスランシーバを通じた送信を開始すること

を行うようにさらに構成される、C 9に記載の第1のS T A。

[C 1 1]

前記プロセッサは、ソースデバイスを示す、前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージ中の1つまたは複数のパラメータに少なくとも部分的に基づいて、前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージを認証することによって、前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージを、前記第2のS T Aによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第1のF T Mメッセージの受信を確認応答するようにさらに構成される、C 9に記載の第1のS T A。

[C 1 2]

前記1つまたは複数のパラメータは、前記第2のS T AのB S S I Dを示す、C 1 1に記載の第1のS T A。

[C 1 3]

前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージは、前記第1のF T Mメッセージが前記第2のS T Aにおいて受信された時間と、前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージが前記第2のS T Aから送信された時間とを示す1つまたは複数のパラメータを備え、前記プロセッサは、前記ワイヤレスランシーバにおける前記メッセージの到着時間を、前記第1のF T Mメッセージが前記第2のS T Aにおいて受信された前記時間と、前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージが前記第2のS T Aから送信された前記時間とを示す前記1つまたは複数のパラメータに少なくとも部分的に基づく値と比較することによって、前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージを、前記第2のS T Aによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第1のF T Mメッセージの受信を確認応答するようにさらに構成される、C 9に記載の第1のS T A。

[C 1 4]

前記第1のF T Mメッセージは、第1のトークンを備えるF T M要求メッセージの前記第2のS T Aからの受信に応答して送信され、前記第1のF T Mメッセージは、第2のトークンを備え、前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージは、第3のトークンを備え、前記プロセッサは、前記第3のトークンを、前記第1のトークンと前記第2のトークンとの関数として計算された値に対して比較することによって、前記ワイヤレスランシーバにおいて受信された前記メッセージを、前記第2のS T Aによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第1のF T Mメッセージの受信を確認応答するようにさらに構成される、C 9に記載の第1のS T A。

[C 1 5]

前記プロセッサは、

前記第2のS T Aに宛てられた第2のF T Mメッセージの送信を開始することと、前記第2のF T Mメッセージは、第4のトークンを備える、

第5のトークンの、前記第1のトークンと前記第4のトークンとの関数として計算された値に対する比較に少なくとも部分的に基づいて、第2の受信されたメッセージの受信を、前記第2のS T Aによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第2のF T Mメッセージの受信を確認応答することと、前記第2の受信されたメッセージは、前記第5

のトークンを備える、

を行うようにさらに構成される、C 1 4に記載の第 1 の S T A。

[C 1 6]

前記第 1 の F T M メッセージは、前記第 2 の S T A から送信された F T M 要求メッセージの受信に応答して送信され、前記 F T M 要求メッセージは、F T M メッセージの受信を確認応答するメッセージの認証を指定する値を「トリガ」フィールド中に備える、C 9 に記載の第 1 の S T A。

[C 1 7]

第 1 のワイヤレストランシーバデバイスであって、

第 2 のワイヤレストランシーバデバイスに宛てられた第 1 のファインタイミング測定 (F T M) メッセージを送信するための手段と、

受信されたメッセージを、前記第 2 のワイヤレストランシーバデバイスによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第 1 の F T M メッセージの受信を確認応答するための手段と

を備える、第 1 のワイヤレストランシーバデバイス。

[C 1 8]

前記受信されたメッセージを、前記第 2 のワイヤレストランシーバデバイスによって送信されたものであり、前記第 1 の F T M メッセージの受信を確認応答するものとして認証することに応答して、前記受信されたメッセージの到着時間を示す 1 つまたは複数のパラメータを備える、前記第 2 のワイヤレストランシーバデバイスに宛てられた第 2 の F T M メッセージを送信するための手段

をさらに備える、C 1 7 に記載の第 1 のワイヤレストランシーバデバイス。

[C 1 9]

前記受信されたメッセージを、前記第 2 のワイヤレストランシーバデバイスによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第 1 の F T M メッセージの受信を確認応答するための前記手段は、ソースデバイスを示す前記受信されたメッセージ中の 1 つまたは複数のパラメータに少なくとも部分的に基づいて前記受信されたメッセージを認証するための手段を備える、C 1 7 に記載の第 1 のワイヤレストランシーバデバイス。

[C 2 0]

前記 1 つまたは複数のパラメータは、前記第 2 のワイヤレストランシーバデバイスの B S S I D を示す、C 1 9 に記載の第 1 のワイヤレストランシーバデバイス。

[C 2 1]

前記受信されたメッセージは、前記第 1 の F T M メッセージが前記第 2 のワイヤレストランシーバデバイスにおいて受信された時間と、前記受信されたメッセージが前記第 2 のワイヤレストランシーバデバイスから送信された時間とを示す 1 つまたは複数のパラメータを備え、前記受信されたメッセージを、前記第 2 のワイヤレストランシーバデバイスによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第 1 の F T M メッセージの受信を確認応答するための前記手段は、前記受信されたメッセージの到着時間を、前記第 1 の F T M メッセージが前記第 2 のワイヤレストランシーバデバイスにおいて受信された前記時間と、前記受信されたメッセージが前記第 2 のワイヤレストランシーバデバイスから送信された前記時間とを示す前記 1 つまたは複数のパラメータに少なくとも部分的に基づく値と比較するための手段をさらに備える、C 1 7 に記載の第 1 のワイヤレストランシーバデバイス。

[C 2 2]

前記第 1 の F T M メッセージは、第 1 のトークンを備える F T M 要求メッセージの前記第 2 のワイヤレストランシーバデバイスからの受信に応答して送信され、前記第 1 の F T M メッセージは、第 2 のトークンを備え、前記受信されたメッセージは、第 3 のトークンを備え、前記受信されたメッセージを、前記第 2 のワイヤレストランシーバデバイスによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第 1 の F T M メッセージの受信を確認応答するための前記手段は、前記第 3 のトークンを、前記第 1 のトークンと前記第 2 のト

ークンとの関数として計算された値に対して比較するための手段をさらに備える、C 1 7 に記載の第 1 のワイヤレスランシーバデバイス。

[C 2 3]

前記第 1 の F T M メッセージは、前記第 2 のワイヤレスランシーバデバイスから送信された F T M 要求メッセージの受信に応答して送信され、前記 F T M 要求メッセージは、F T M メッセージの受信を確認応答するメッセージの認証を指定する値を「トリガ」フィールド中に備える、C 1 7 に記載の第 1 のワイヤレスランシーバデバイス。

[C 2 4]

非一時的記憶媒体であって、

第 1 のファインタイミング測定 (F T M) メッセージの送信を開始することと、前記第 1 の F T M メッセージは、第 2 のワイヤレスランシーバデバイスに宛てられる、

受信されたメッセージを、前記第 2 のワイヤレスランシーバデバイスによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第 1 の F T M メッセージの受信を確認応答することと

を行うように第 1 のワイヤレスランシーバデバイスのプロセッサによって実行可能である記憶されたコンピュータ可読命令を備える、非一時的記憶媒体。

[C 2 5]

前記受信されたメッセージを、前記第 2 のワイヤレスランシーバデバイスによって送信されたものであり、前記第 1 の F T M メッセージの受信を確認応答するものとして認証することに応答して、前記受信されたメッセージの到着時間を示す 1 つまたは複数のパラメータを備える、前記第 2 のワイヤレスランシーバデバイスに宛てられた第 2 の F T M メッセージの送信を開始すること

を行うように前記プロセッサによって実行可能である命令をさらに備える、C 2 4 に記載の記憶媒体。

[C 2 6]

ソースデバイスを示す前記受信されたメッセージ中の 1 つまたは複数のパラメータに少なくとも部分的に基づいて前記受信されたメッセージを認証することによって、前記受信されたメッセージを、前記第 2 のワイヤレスランシーバデバイスによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第 1 の F T M メッセージの受信を確認応答することを行うように前記プロセッサによって実行可能である命令をさらに備える、C 2 4 に記載の記憶媒体。

[C 2 7]

前記 1 つまたは複数のパラメータは、前記第 2 のワイヤレスランシーバデバイスの B S S I D を示す、C 2 6 に記載の記憶媒体。

[C 2 8]

前記受信されたメッセージは、前記第 1 の F T M メッセージが前記第 2 のワイヤレスランシーバデバイスにおいて受信された時間と、前記受信されたメッセージが前記第 2 のワイヤレスランシーバデバイスから送信された時間とを示す 1 つまたは複数のパラメータを備え、前記命令は、前記受信されたメッセージの到着時間を、前記第 1 の F T M メッセージが前記第 2 のワイヤレスランシーバデバイスにおいて受信された前記時間と、前記受信されたメッセージが前記第 2 のワイヤレスランシーバデバイスから送信された前記時間とを示す前記 1 つまたは複数のパラメータに少なくとも部分的に基づく値と比較することによって、前記受信されたメッセージを、前記第 2 のワイヤレスランシーバデバイスによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第 1 の F T M メッセージの受信を確認応答することを行うように前記プロセッサによってさらに実行可能である、C 2 4 に記載の記憶媒体。

[C 2 9]

前記第 1 の F T M メッセージは、第 1 のトークンを備える F T M 要求メッセージの前記第 2 のワイヤレスランシーバデバイスからの受信に応答して送信され、前記第 1 の F T M メッセージは、第 2 のトークンを備え、前記受信されたメッセージは、第 3 のトークン

を備え、前記命令は、前記第 3 のトークンを、前記第 1 のトークンと前記第 2 のトークンとの関数として計算された値に対して比較することによって、前記受信されたメッセージを、前記第 2 のワイヤレストランシーバデバイスによって送信されたものとして条件付きで認証し、前記第 1 の F T M メッセージの受信を確認応答することを行うように前記プロセッサによってさらに実行可能である、C 2 4 に記載の記憶媒体。

[C 3 0]

前記第 1 の F T M メッセージは、前記第 2 のワイヤレストランシーバデバイスから送信された F T M 要求メッセージの受信に応答して送信され、前記 F T M 要求メッセージは、F T M メッセージの受信を確認応答するメッセージの認証を指定する値を「トリガ」フィールド中に備える、C 2 4 に記載の記憶媒体。